

社会保障制度の歴史と将来

－自由と平等を繋ぐ「人間の尊厳」の尊重－

2017・1・29 東京臨床小児歯科研究会

杏林大学名誉教授 岸 邦 和

只今ご紹介いただきました杏林大学の岸でございます。

本日は、50周年記念事業でお話できることを 大変光栄に存じております。この機会を与えていただきました、会長の鏡宣昭(かがみのりあき)先生、元会長の澤野宗重(さわのむねしげ)先生、準備に当たりまして、丁寧にご助言いただいた 庶務をご担当の小肩敏江(おがたとしえ)先生、 そしてすべての会員の皆様に感謝申し上げます。

本日の講演の内容につきましては、抄録を記念誌に掲載させていただき、パワーポイントの抜粋を 資料として配布させていただいておりますので、ご参照くださるようお願いします。

本日の話題

－包括的な視点から社会保障をとらえる－

1. 日本の社会保障制度の問題点
 - 公債依存と社会保障費の不足
2. 社会福祉制度の歴史と教訓
 - 自由・自己責任・懲罰の時代
 - 平等・相互扶助・福祉依存の時代
3. 福祉レジーム論－世界の社会保障制度－
 - 社会福祉の提供の主体の分類
4. 持続可能な社会保障制度を求めて－論点－
 - 我が国の問題点の原因を探る
 - 新たな制度設計の理念
 - 将来への提案

[社会保障制度の歴史と将来:本日の話題](#)

1

スライドに本日の話題をまとめました。

日本の社会保障制度が多くの問題を抱えていることは、よく報道されるところですが、多くの議論は個々の政策に限定されていることが多く、包括的な視点からの議論が少ないように思います。

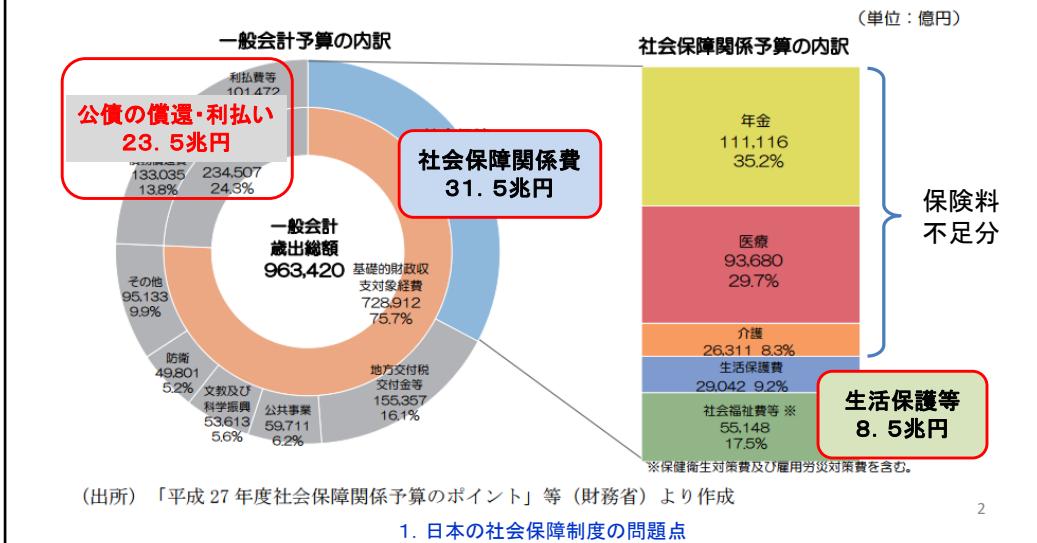
そこで本日は先ず、日本の社会保障制度の問題点を共有した上で、社会福祉制度の歴史を振り返ります。次に世界の社会保障制度を概観し、我が国の問題点の原因を把握します。さらにあまり議論されることのない 制度設計の理念を考察して、最後に将来への提案をしたいと思います。

スライドの一番下に、これらの項目を入れております。話の流れをご確認いただく際に参考にしていただければと思います。

1. 日本の社会保障制度の問題点

－公債依存・社会保障費の不足－

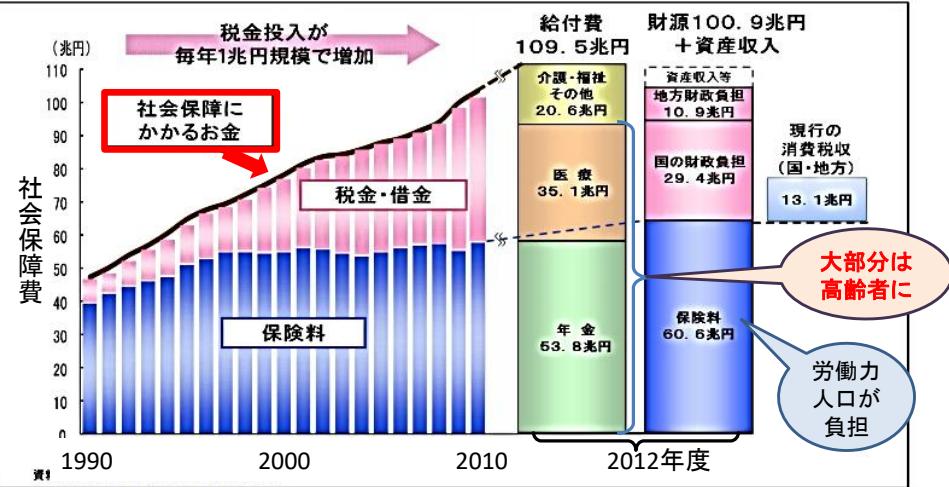
図表1 平成27年度一般会計予算・社会保障関係予算の内訳



日本の一般会計の歳出の内訳は左の円グラフのようになっています。社会保障関係費32兆円と公債の返済に関わる費用24兆円が2大項目です。

これだけ見ますと社会保障が手厚いように思いますが、本来一般会計から支出する社会保障費は、右の棒グラフの生活保護と社会福祉の合計9兆円ほどでして、残りの23兆円は年金や医療の 保険料が不足しているための支出です。

歳入の40兆円を国債に依存しており、償還が24兆円なので、借入金は年々増加しています。



[出典]厚生労働省「平成24年版厚生労働白書」p161

厚生労働省 ([http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/dl/chiiiki-gyosei_03_04.pdf](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/dl/chiiiki-gyousei_03_04.pdf))

財政健全化の方策



医療費や年金の削減、保険料の増額、
労働力人口の増加

1. 日本の社会保障制度の問題点

3

社会保障費の総額を1990年から見ますとこのように増加しています。青が医療保険や年金保険の保険料収入、ピンクが一般会計などからの補てん分です。90年代後半には労働力人口が減少したために保険料の伸びが止まり、高齢化によって年金や医療費が増加し続けるために、税金からの補てんが増えています。

財政健全化のためには、医療費や年金を削減するか、若者からの保険料を増額するか、労働力人口の増加を図るか の方策しかありません。高齢者の寿命は、医療技術や情報通信技術の進展でさらに伸びると考えられます。

国の借金の残高はどれくらい？



1. 日本の社会保障制度の問題点

4

国の借金は、税収の16年分となっており、将来世代の大きな負担になってきます。

高齢者の尊厳と若者の尊厳の衝突



年金や医療費の削減に対して、老人からは「老人は死ねといふのか」という叫びが聞こえます。若者からは「たくさんの借金を残して、若者の未来を奪うのか」という不満の声が上がります。

それでは、将来の制度をどのようにしたらいいのか、歴史や世界の制度を参考にして解決策を探りたいと思います。

先ず、社会福祉制度の歴史をふりかえって、教訓を学びます。

言葉の定義

社会保障制度：19世紀後半にはじめて法制化された、疾病保険、労災保険、老齢保険、生活保護、障害者支援などの相互扶助制度。

社会福祉：

- ①法制化された社会保障制度における、金銭給付に対する福祉サービス(援助の提供)のこと。行政分野の概念。
- ②福祉が幸福を意味することから、社会保障制度を包括する相互扶助を意味する一般的な概念。地域の共助などを含む。

[1. 日本の社会保障制度の問題点](#)

6

本講演では、社会保障と社会福祉という言葉を併用しています。同じような意味で使うことが多いのですが、ひとまず言葉の定義をしておきたいと思います。

社会保障制度とは、…

社会福祉にという言葉は2つの意味で用いられており、1つは、…、社会保障制度の1分野であり、もう1つは、社会保障制度を包括する…

本日の話題

1. 日本の社会保障制度の問題点
 - 公債依存と社会保障費の不足
2. 社会福祉制度の歴史と教訓
 - 自由・自己責任・懲罰の時代
 - 平等・相互扶助・福祉依存の時代
3. 福祉レジーム論－世界の社会保障制度－
 - 社会福祉の提供の主体の分類
4. 持続可能な社会保障制度を求めて－論点－
 - 我が国の問題点の原因を探る
 - 新たな制度設計の理念
 - 提案

2. 社会福祉制度の歴史と教訓

7

それでは社会福祉制度の歴史と教訓に入ります。

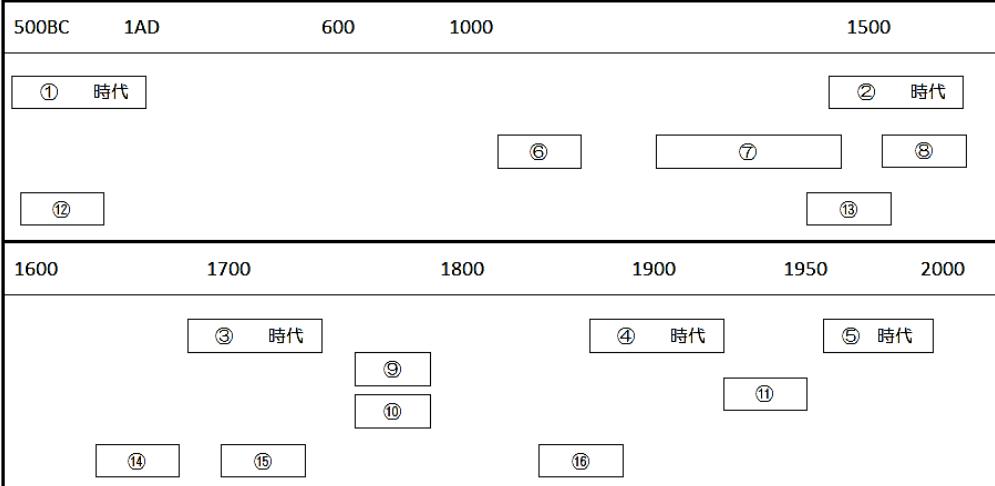
世界史

次の年表の①～⑯に入る最も適当な言葉あるいは人物を
下の3群から選びなさい。

①～⑤：冷戦、大航海、ギリシャ、ローマ、帝国主義、中世、グローバル、啓蒙

⑥～⑩：ルネサンス、産業革命、第二次世界大戦、フランス革命、ロシア革命、十字軍、宗教改革

⑪～⑯：ルソー、ルイXIV、ルイXVI、レオナルド・ダ・ビンチ、バッファロー、ソクラテス



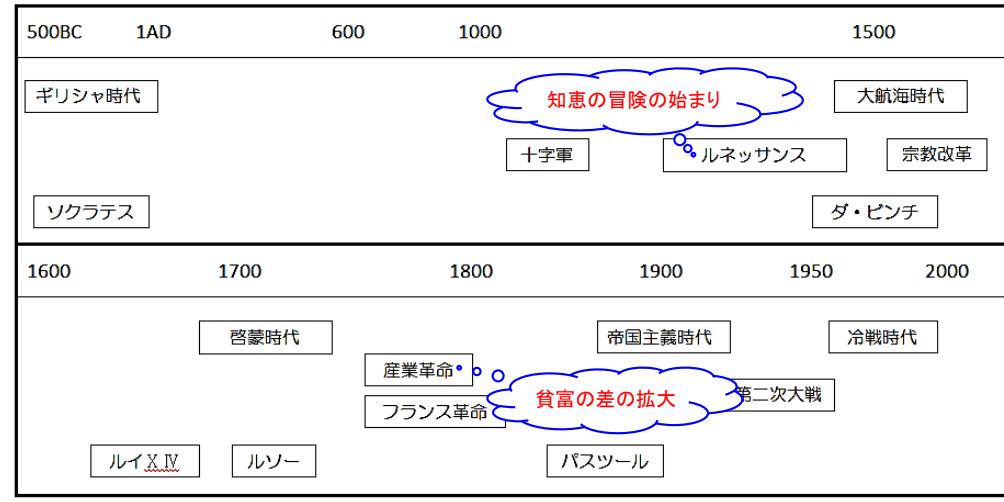
2. 社会福祉制度の歴史と教訓

8

これは歴史の流れを把握してもらうための練習問題です。

世界史 次の年表の①～⑯に入る最も適当な言葉あるいは人物を下の3群から選びなさい。

- ①～⑤：冷戦、大航海、ギリシャ、ローマ、帝国主義、中世、グローバル、啓蒙
 ⑥～⑩：ルネッサンス、産業革命、第二次世界大戦、フランス革命、ロシア革命、十字軍、宗教改革
 ⑪～⑯：ルソー、ルイXIV、ルイXVI、レオナルド・ダ・ビンチ、パスツール、ソクラテス



2. 社会福祉制度の歴史と教訓

9

今日は時間がありませんので、答えを入れてお話しします。

ヨーロッパではルネッサンスを通して、聖書を中心とする価値感から、人間の理性と感性を中心とした価値観に徐々に転換します。正義や自然現象に関して、何の基準がない中での人間の知恵の冒険の始まり✓ということができます。

その結果、宗教の分野では宗教改革が起こり、政治の分野では自由と平等を主張する啓蒙主義が起こり、科学技術の分野では産業革命が起こりました。

啓蒙思想は市民革命を引き起こし、市民革命によって成立した国民国家は富を外国に求めて帝国主義に陥り、第二次大戦で衝突しました。

✓産業革命は貧富の差を拡大し、自由を標榜する資本主義と平等を主張する社会主義のイデオロギー対立をもたらしました。

社会福祉制度は1500年代のイギリスにその萌芽が見られ、左右のイデオロギー対立を経て整備されてきました。

公的福祉制度の簡単な歴史 pt.1

年	制度	概要	結果
1601	(英)エリザベス救貧法	有能貧民:懲罰, 強制労働 無能貧民:給付	貧民の不満
1795	(英)スピーナムランド制度	最低生活の経費を算定, 収入との差額を支給	経営者:賃金引き下げ 労働者:労働意欲減退
1833	(英)工場法	児童労働の制限	以後の労働条件の改善 政策の促進
1834	(英)新救貧法	懲罰教化, 劣等待遇, 院内救済	不満, 暴動
1870	(英)教育法	義務教育制度	児童の資質の向上 =次世代の資質の向上
1883	(独)疾病保険法	世界で最初の社会保険	種々の社会保険が世界 各国に普及
1902	(英) C. ブースの貧困調査	ロンドンの人口の30%が貧困	貧困の原因は個人の怠 惰ではなく社会問題

2. 社会福祉制度の歴史と教訓

10

お手元のパワーポイントの資料にこれと次の表を入れておきました。

公的福祉制度の簡単な歴史 pt.2

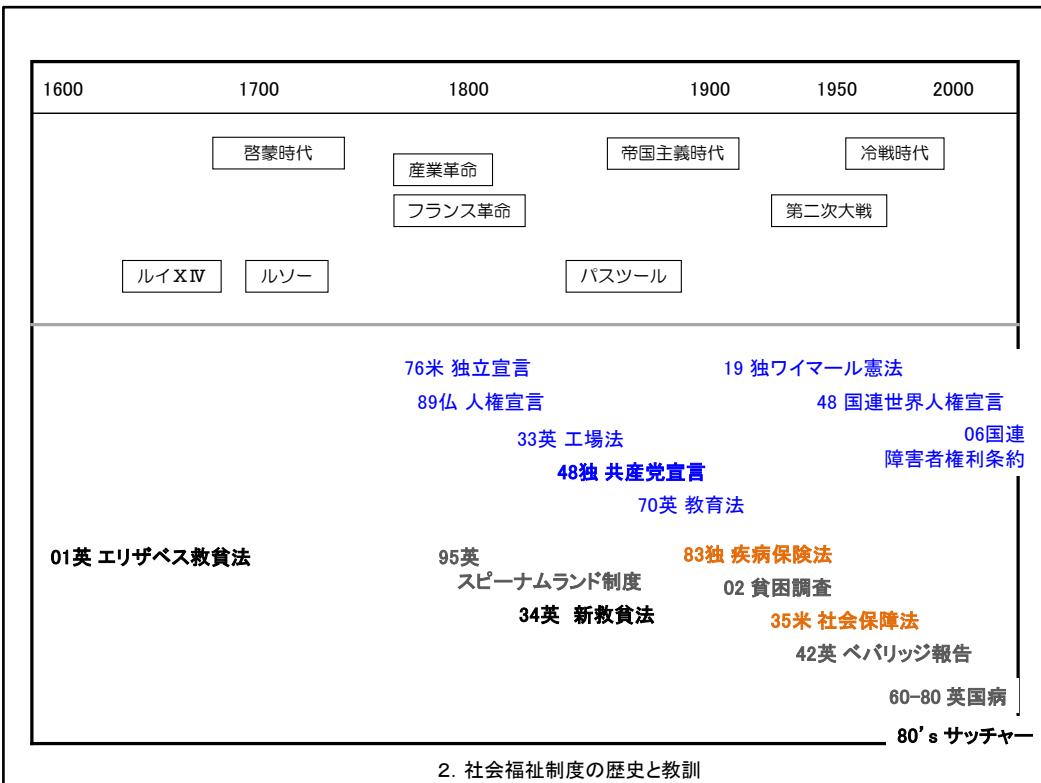
年	制度	概要	結果
1935	(米)社会保障法	公共事業、職業訓練、計画経済、等によって自由競争を制限	1929年の大恐慌後のアメリカ社会を再建
1942	(英)ベバリッジ報告	福祉国家政策(社会保険、児童手当、最低生活の保障、完全雇用)	第二次大戦後の英の「ゆりかごから墓場まで」の理念
1970年代	(英)福祉国家政策		英國病(賃上げ闘争、国際競争力低下)
1973年 1979年	(石油ショック)	73 福祉元年 日本の高度経済成長終焉	福祉予算の削減
1980年代	新自由主義政策 (英:サッチャー政権)	自由競争、規制緩和、小さな政府	失業者増加、格差拡大、サービスの質の低下
1990年代	就労支援、地域福祉 (英:ブレア政権)	自由市場主義と福祉国家主義の両立の摸索	給付から就労へ、 福祉依存から地域の共助へ

2. 社会福祉制度の歴史と教訓②

11

本日は黒い字で示しましたイギリスを例に、次のスライドの年表に沿って説明させていただきます。

10
-40



上の段は先ほどの年表の下段で、1600年から現代までです。下の部分の黒い文字がイギリスの施策です。

ヨーロッパにおける最初の公的な福祉制度はイギリスのエリザベス救貧法といわれています。エリザベス一世の父親のヘンリーアー八世は、王妃との離婚をカトリック教会に拒否されたため、国王を首長とするイギリス国教会をつくりました。併せてカトリックの修道院を解散させたために、保護されていた貧民が都会に流れ込みました。またこの時代に毛織物業が隆盛したため、地主が農地を牧羊地にして 小作人を追い出すエンクロージャーをしました。多数の貧民が集まった都市は治安が悪くなります。エリザベス一世は貧民を施設に集め、教区から貧民税を徴収して 食料や衣服を与え、子供や働く者には懲罰的な強制労働を課しました。

懲罰的な救貧法に対して、1日の収入がパンの価格に満たないものに、教区の税金から補助する制度ができました。スピーナムランド制度といいます。現在の生活保護の原型といわれていますが、貧民は収入が保障されるので 働かなくなり、市民の負担する税金が上がって 制度の見直しを迫られました。

その後、清貧と勤勉を旨とする プロテスタンティズムに基づいて、貧民は怠惰であるとする懲罰的な新救貧法が制定されました。とても過酷な制度だったので、施設から逃げ出す貧民も多く、慈善団体が救済に当たりました。

1800年代の終わりになると、資本家のサイドからも 貧困に対する関心が高まり、チャールズブースが貧困調査を行って、ロンドン市民の30%が貧困状態にあることを明らかにしました。貧困は個人の怠惰ではなく 社会問題であると認識されるようになりました。

戦後イギリスは「ゆりかごから墓場まで」という国家による福祉政策を実行しました。ところが、労働者は 技術革新よりも賃上げを要求したので、イギリスの国際競争力は低下して 英国病とよばれるようになりました。サッチャーは。新自由主義政策によって競争力を高めましたが、貧富の差が拡大して 国民に不満が蓄積しました。

このように、懲罰的な福祉政策と救済的な福祉政策が交互に行われてきました。

社会福祉制度の歴史からの教訓

- 自由・自己責任・懲罰を原則とする場合
 - 格差が拡大し社会不安が増大するので、治安維持政策と不平等の是正策が必要
- 平等・相互扶助・救済を原則とする場合
 - 社会保障への依存がおこるので、自立をはかるための教育と政策が必要



教訓：格差を縮小すること、自立を促すこと

歴史からの教訓をまとめます。

自由や自己責任を原則とする場合には、格差が拡大するので、治安維持と不平等の是正策が必要となります。

平等や相互扶助を原則とする場合には、社会保障への依存が起こるので、自立を図るための教育や政策が必要となります。

従って、どのような福祉政策においても、格差を縮小することと 自立を促すことが必要だといえます。

本日の話題

1. 日本の社会保障制度の問題点
 - 公債依存と社会保障費の不足
2. 社会福祉制度の歴史と教訓
 - 自由・自己責任・懲罰の時代
 - 平等・相互扶助・福祉依存の時代
3. 福祉レジーム論－世界の社会保障制度－
 - 社会福祉の提供の主体の分類
4. 持続可能な社会保障制度を求めて－論点－
 - 我が国の問題点の原因を探る
 - 新たな制度設計の理念
 - 提案

3. 福祉レジーム論

14

次に、世界の資本主義国家 における社会保障制度を概観します。

エスピニーアンデルセンは、福祉の提供主体を3つの類型に分類しました。福祉レジームとは、「福祉提供体制」と言った意味でご理解いただければと思います。

福祉レジームの類型

	自由主義 レジーム	社会民主主義 レジーム	保守主義 レジーム
福祉の提供主体	市場	国家	家族
補助的役割	家族・職業組合・国家	家族・市場	職業組合・国家・市場
年金・医療保険	自己責任 (保険を買う)	国家保障 (少数の私的保険)	組合の保険・公的保険 (組合による格差)
子育ての負担・ 老人介護	家族の負担・ 自己責任	公的保育所・ 公的サービス	大家族・ 女性の負担大
経済の自由度	大(減税⇒消費)	小(将来への投資)	中
短所・ 長所	自己責任・格差大 実力主義・小さな政府	高負担・ 大きな政府 平等・公正な公務員	格差大・公務員優遇 家族の連帯
典型例	アメリカ	スウェーデン	イタリア

3. 福祉レジーム論

15

3つの類型は、自由主義レジーム、社会民主主義レジーム、保守主義レジームです。

福祉の提供の主体はそれぞれ、市場、国家、家庭で、補助的な役割をこれらが担っています。

自由主義レジームでは、年金や医療保険を買うか買わないかは自己責任です。子育てや老人介護も、保険がなければ親族が負うことになります。全く支援が得られない人に対して、慈善団体や国家が、最低限の支援を行うことがあります。政府の財政規模は小さく、小さな政府とよばれます。

社会民主主義レジームでは、国家が保障するので、年金や医療、子育てや介護に大きな不安がありません。公務員は公僕であり信頼度は高いと言えます。税率は高く、政府の財政規模は大きくなるので大きな政府とよばれます。

保守主義レジームでは年金や医療は職業組合が主体となります。子育ても介護も大家族を背景にして女性が担います。性別や組合間の格差が存在します。公務員はエリートで年金も比較的高額です。

日本は、皆保険・皆年金という制度上は、社会民主主義レジームであり、不足を私的保険で補てんしなければならない状態は、自由主義レジームであり、組合別の保険制度や、女性の就業が確保されていない状態は、保守主義レジームということができます。

歴史の教訓であった 格差の縮小という観点からは、自由主義レジームと保守主義レジームには 改善すべき点があります。公務員が公正でないと 制度は破たんします。自立の促進などのレジームでも共通の課題です。 17.5

本日の話題

1. 日本の社会保障制度の問題点
 - 公債依存と社会保障費の不足
2. 社会福祉制度の歴史と教訓
 - 自由・自己責任・懲罰の時代
 - 平等・相互扶助・福祉依存の時代
3. 福祉レジーム論－世界の社会保障制度－
 - 社会福祉の提供の主体の分類
4. 持続可能な社会保障制度を求めて－論点－
 - 我が国の問題点の原因を探る
 - 新たな制度設計の理念
 - 提案

[4. 持続可能な社会保障制度を求めて:論点](#)

16

これまでに見た、社会福祉の歴史と 世界の現状を基に、これからの社会保障制度を考察したいと思います。

4. 持続可能な社会保障制度を求めて—論点—

4-1) 我が国の問題点の原因を探る

- 経済主導の社会保障政策の理想と現実
- 失業率・非正規雇用労働者の割合・所得分布
- 教育投資の国際比較
- 国民負担率の国際比較

4-2) 新たな制度設計の理念

- 自由の倫理
- 平等性の考察
- 持続可能なコミュニティの理想像

4-3) 提案—理念主導の社会保障政策—

- 所得保障
- 平均寿命100歳時代のライフサイクル
- 出生率増加
- 国の信頼回復

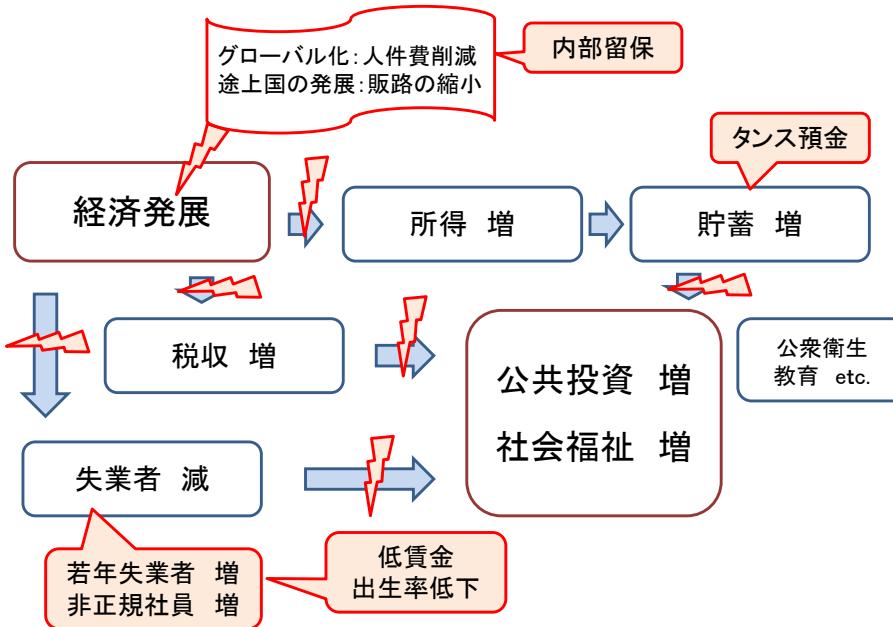
4. 持続可能な社会保障制度を求めて:論点

17

目次が重複するようで恐縮ですが、各項目についてもう 少し詳しく論点を挙げます。

日本が これまでに目指してきた 経済主導の社会保障政策を検証し、現代社会の基本原理となった 自由と平等を再考します。そのうえで、理念主導の社会保障政策を考察して、現在の制度の改良点を提案したいと思います。

経済主導の社会保障政策の理想と現実



4. 持続可能な社会保障制度を求めて: 1) 我が国の問題点の原因を探る

18

日本が目指している 経済主導の社会保障政策の理想を書いてみました。

経済発展によって 所得や貯蓄が増え、税収も増加します。これらが公共投資や公衆衛生・教育、社会福祉の財源になります。また、経済発展によって失業者が減るので、多くの労働者が 少数の失業者を 手厚く支えることができます。

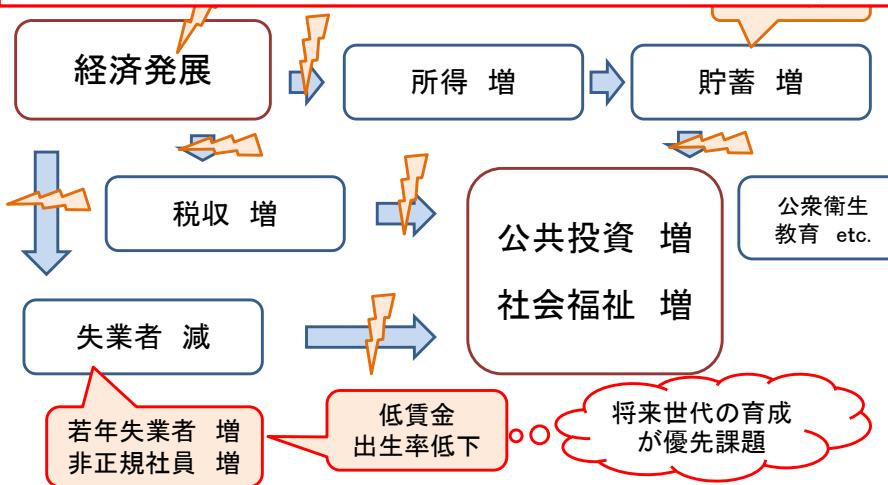
ところが、✓グローバル化による 人件費の削減、途上国の発展による 製品の販路の縮小によって 経済発展が減速すると、✓所得も税収も減少します。将来不安から、✓企業では内部留保が多くなり、個人は預金額の縮小が起こります。✓公共投資も不足して経済の循環が停滞します。✓低賃金の非正規社員が増えて✓出生率が低下するという 閉塞状況になります。

技術革新は必須の武器ですが、後発国と共に存しながら 大きく経済発展することは難しい時代になったといえます。✓

経済主導の社会保障政策の理想と現実

政治は国民国家単位、経済はグローバル経済：

- ・グローバル企業は利潤を上げるために、各国の政策をつまみ食い！
- ・各国は国家財政の厳しくなる政策の実施を迫られる！



4. 持続可能な社会保障制度を求めて：1) 我が国の問題点の原因を探る

19

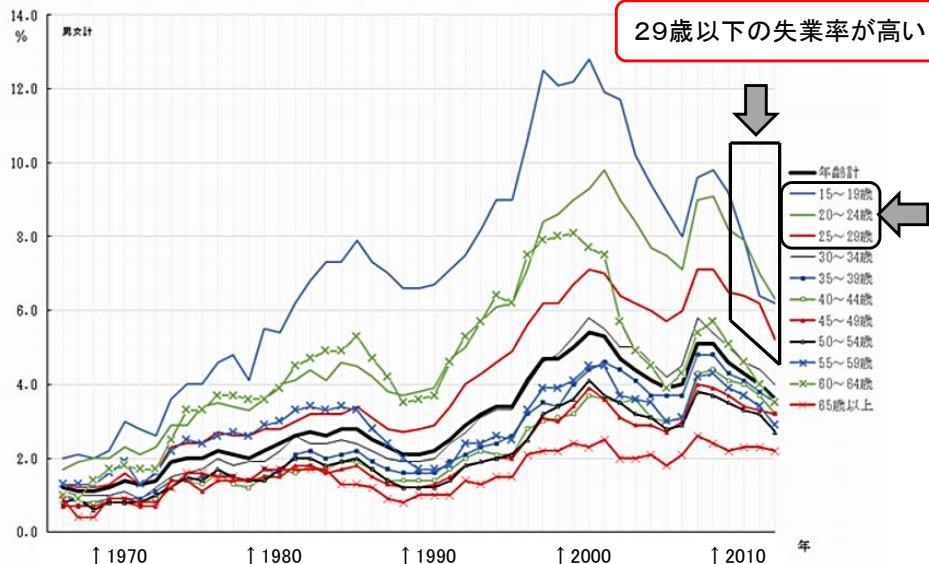
さらに、グローバル企業は 法人税の安い国に関連企業を作るので、国民国家を基盤とする世界の国々は、税率を下げて 国家財政が厳しくなる政策をうたざるを得ません。

現在の制度が、経済政策によって改善されるものなのか、それとも従来の経済政策では対処できない局面にあるのかは わかりませんが、今後の社会保障を考える上では、✓低収入・出生率低下の悪循環を断つ 将来世代の育成策を 優先しなければいけないよう思います。

完全失業率（年齢階級別）

1968年～2014年

労働政策研究・研修機構 <http://www.jil.go.jp/kokunai/statistics/timeseries/html/g0303.html>



4. 持続可能な社会保障制度を求めて：1) 我が国の問題点の原因を探る

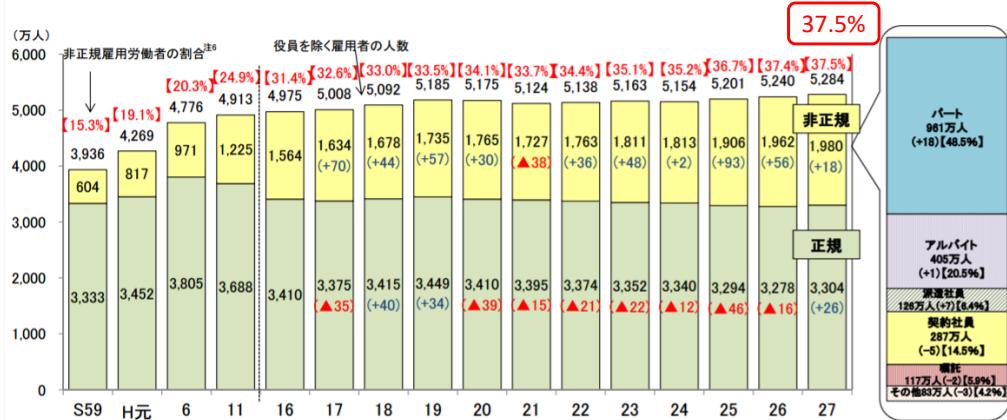
20

若者の雇用状態を確認します。

これは、年齢階級別の日本の失業率の年次推移です。諸外国に比べると日本の失業率は低いのですが、青と緑と赤の29歳以下の失業率が大変高くなっています。

正規雇用と非正規雇用労働者の推移

- 非正規雇用労働者は、平成6年から以降現在まで緩やかに増加しています（役員を除く雇用者全体の37.5%・平成27年平均）。
- 正規雇用労働者は、平成26年までの間に緩やかに減少していましたが、平成27年については8年ぶりに増加に転じました。



厚生労働省

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisaku/jouhou-11650000-shokugyouanteikyoku-henkonyuki-roundoutaisakubu/0000120286.pdf>

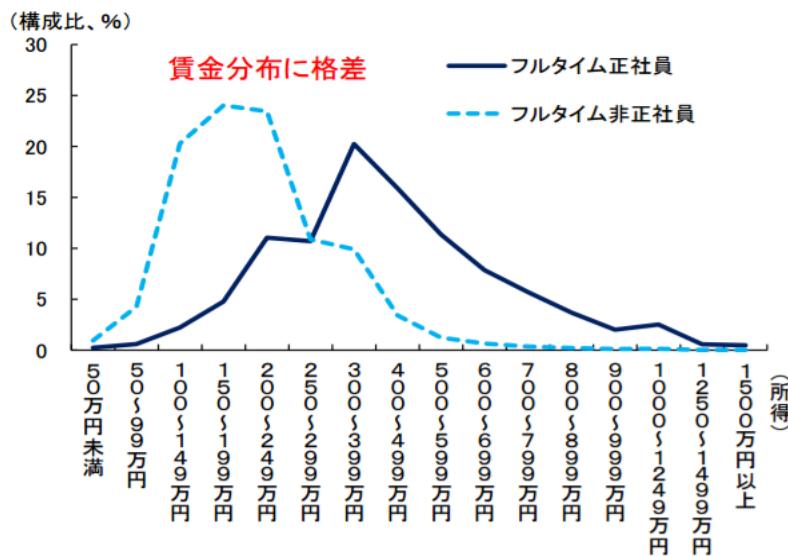
4. 持続可能な社会保障制度を求めて：1) 我が国の問題点の原因を探る

21

失業に含まれない 就業者についても、非正規社員の率は高く、約40%になります。

失業や非正規化によって、次世代を担う若者が 知識や技術を獲得するための 機会が失なわれています。

【 フルタイム正社員とフルタイム非正社員の所得分布 】



(注)ここで得た所得は本業から通常得ている年間所得(税込み)、フルタイムは年間200日以上・週35時間以上としたもの。

(資料) 総務省「就業構造基本調査」(2012年)より、みずほ総合研究所作成

4. 持続可能な社会保障制度を求めて: 1) 我が国の問題点の原因を探る

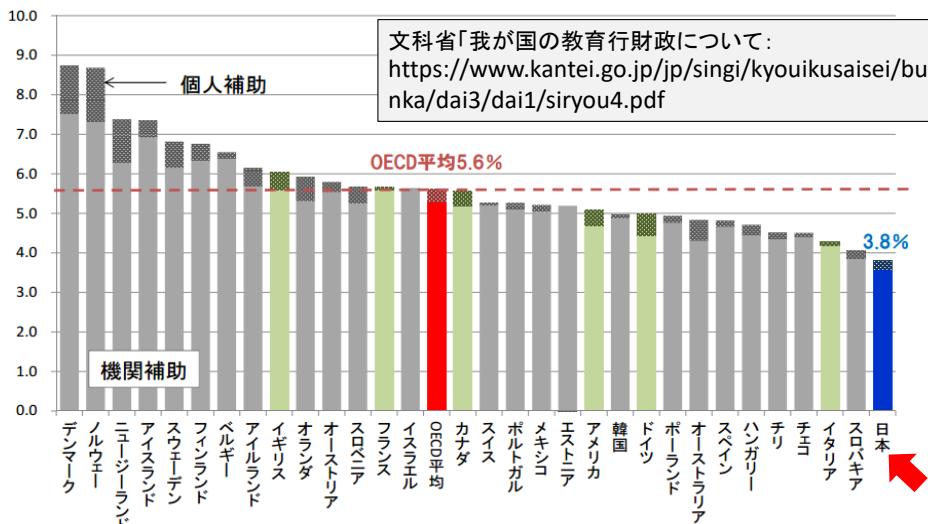
正社員と非正社員の所得を比較したグラフです。非正社員の所得は低くなっています。

経済成長を目指すことは必要ですが、このように見てきますと、社会保障を経済に依存することのリスクもありそうです。

II. 諸外国と比較した我が国の教育投資

(1) 公財政教育支出の対GDP比 (2011年)

我が国の公財政教育支出の対GDP比は、機関補助と個人補助を合わせて3.8%であり、データの存在するOECD加盟国の中で最下位である。



4. 持続可能な社会保障制度を求めて: 1) 我が国の問題点の原因を探る

23

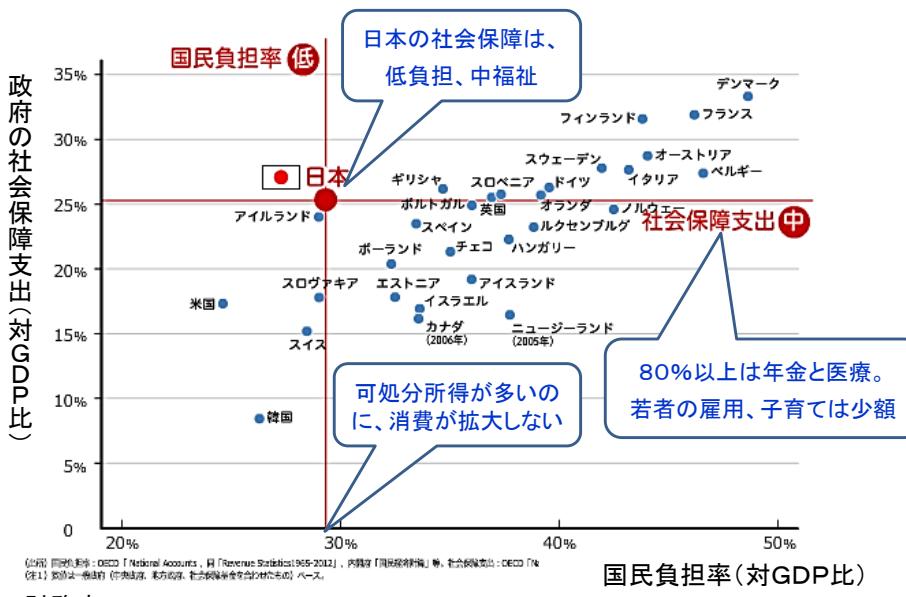
教育にも心配なことがあります。

これは教育支出のGDP比ですが、なんと日本はOECDの最下位にあります。

日本では、教育も、家族の自己責任と考えられており、若者の教育を、国家の将来を担う人材を育成するための投資とはとらえられていないようです。

先日の国会でようやく議論されたようですが、国民全体に高等教育の機会を開くことは、若者個人の可能性を広げるとともに、国の発展性を高めるものであることを銘記したいものです。

諸外国に比べて社会保障支出と国民負担率の関係は？



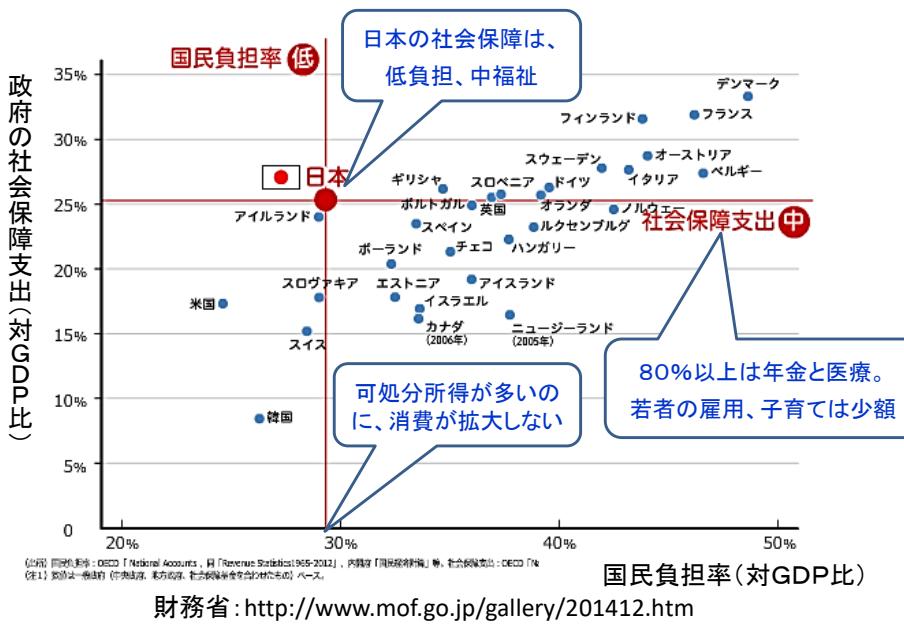
4. 持続可能な社会保障制度を求めて：1) 我が国の問題点の原因を探る

日本の社会保障の現状をまとめます。

横軸が国民負担率、縦軸が社会保障支出です。世界の各国が このように分布しております、中央がハンガリーあたりなので、日本は低負担中福祉といえます。しかし、先に見たように、社会保障費の80%以上は 高齢者に配分され、若者の雇用や子育ては少額です。

国民負担率が小さいということは、可処分所得が多くなるということですが、消費が拡大しません。平均値である国民負担率は、格差の拡大に伴って、国民の動向を反映しないということであり、その主たる原因是低所得者層の増加と将来不安だと思います。✓

優先事項は低賃金時代の共働き夫婦への支援:所得保障と教育



若者の低所得は直接少子化の原因となります。これからの低賃金時代の 共働き夫婦に対する所得保障と 教育が優先事項だと思います。✓

4. 持続可能な社会保障制度を求めて—論点—

4-1) 我が国の問題点の原因を探る

- 経済主導の社会保障政策の理想と現実
- 失業率・非正規雇用労働者の割合・所得分布
- 教育投資の国際比較
- 国民負担率の国際比較

4-2) 新たな制度設計の理念

- 自由の倫理
- 平等性の考察
- 持続可能なコミュニティの理想像

4-3) 提案—理念主導の社会保障政策—

- 所得保障
- 平均寿命100歳時代のライフサイクル
- 出生率増加
- 国の信頼回復

4. 持続可能な社会保障制度を求めて: 2) 新たな制度設計の理念

26

それでは どのような基準で行うことが公正なのか、あまり議論されることのない、自由や平等などの 理念の考察に入りたいと思います。

自由の倫理

J. S. ミルの自由
経済における自由と倫理
政治における自由と倫理
個人の自由と社会構造

4. 持続可能な社会保障制度を求めて: 2) 新たな制度設計の理念

27

先ずは自由です。

25
-23

J. S. ミルの自由

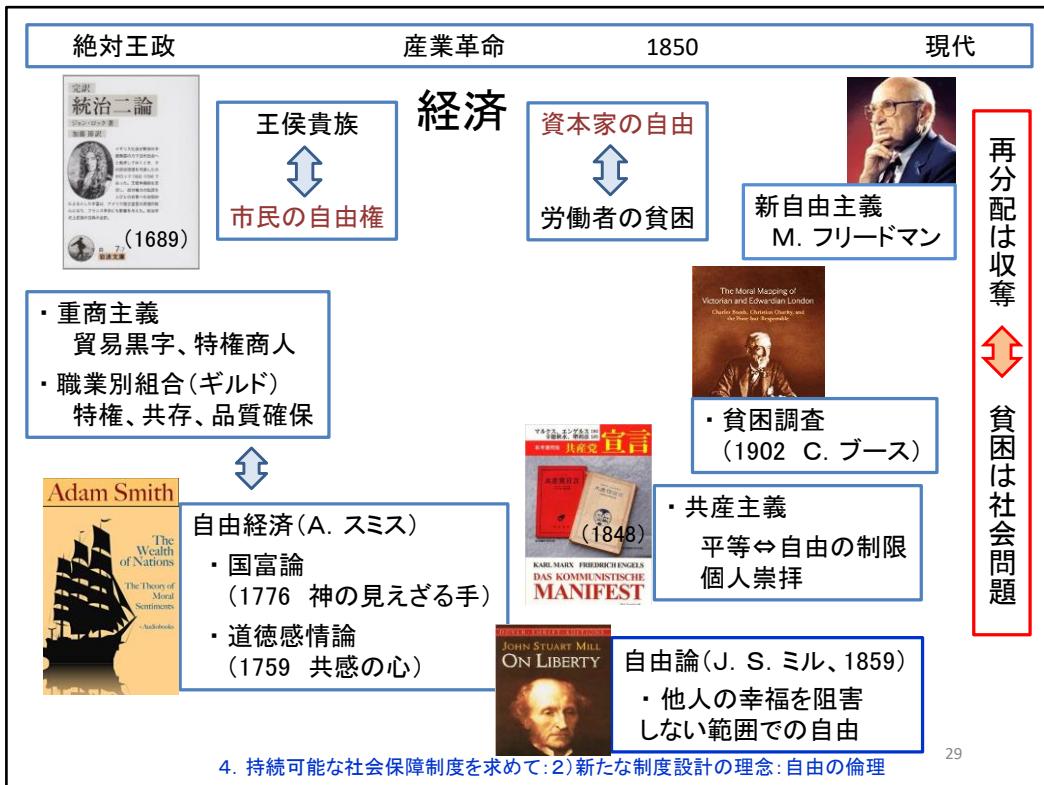
- 自由という名に値するのは、**他人の幸福を奪おうとせず、また、幸福を得ようとする他人の努力を阻害せずに、みずからの幸福をみずからが選んだ方法で追及する自由**だけである。
- 多数派は、国民のうちのある部分を抑圧するよう望む場合があり、この点に対しても、**権力の乱用**の一種として十分な予防策を講じる必要がある。

4. 持続可能な社会保障制度を求めて:2)新たな制度設計の理念:自由の倫理

28

J. S. ミルは、その著書『自由論』の中で、このように言っています。お手元の資料にも載せておきましたが、

他人の幸福を奪わない、多数派は少数派に対して権力の乱用をしない、これがミルの言う自由の条件になります。



まず、経済活動の自由を考えます。自由経済は アダムスミスに始まると言っています。絶対王政の時代に、特権商人を利用して 宮廷に富を蓄積することを目指した重商主義に対して、自由に商売をすることが 国を豊かにすることである と主張しました。

この時代は、ジョンロックやジャンジャックルソーが、王権に対して自由、平等、所有権を主張した時代でもあり、市民から特権階級に対する自由の主張は 正義でした。

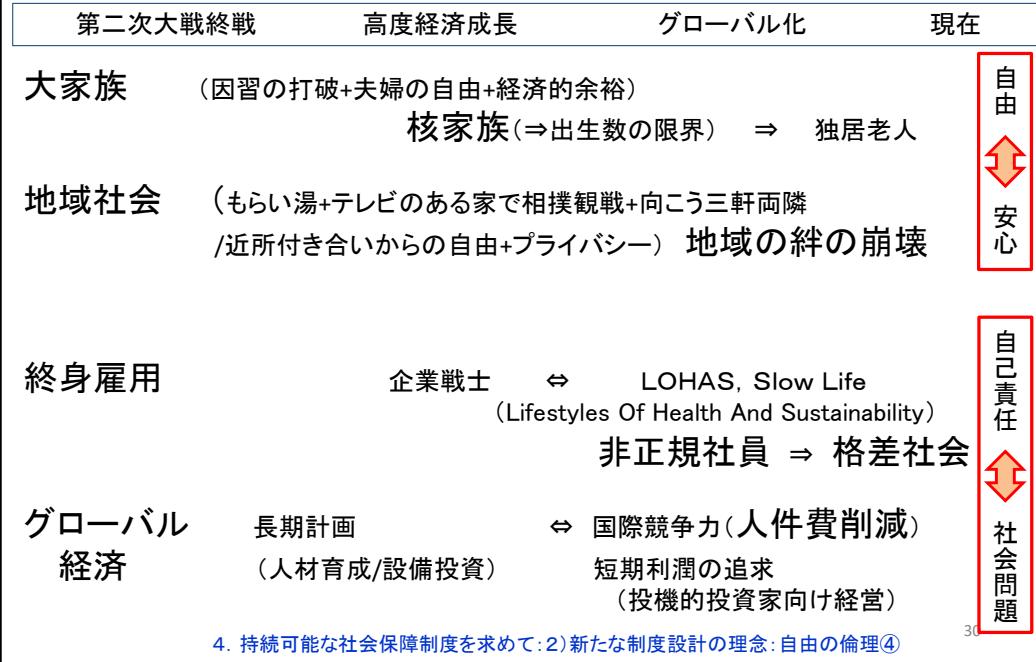
アダムスミスは 自由な経済と言っても、人間は困窮している人に対する共感の心をもっているので、これが道徳的な基準となると道徳感情論の中で説いています。

産業革命が進展して 貧富の差が大きくなった 1800年代には、経営者は労働者を酷使して、自由経済による利益を得ていました。ミルの「他人の幸福を阻害しない」という原則や、アダムスミスの「共感の心」を 捨てているように思います。強者が弱者に対して主張する自由は 正義ではないことがあります。

このような格差を 社会問題ととらえて、マルクスやエンゲルスは共産主義革命を唱えました。経営者サイドからも、チャーレスブースが ロンドンの貧困調査を行って、貧困の原因は 慵惰ではなく社会問題であると考えました。

一方で、ミルトンフリードマンなどの 新自由主義者のように、貧困の克服は自己責任であり、努力によって獲得した財産を 税金として取り上げて再分配することは、権力による収奪である と主張する人たちもいます。

個人



個人のレベルでも 自由の問題を考えてみます。

現在の核家族や 地域社会の絆の希薄さの原因は、両親からの自由や 近所付き合いからの自由 を求めた結果と考えられます。当然の帰結として、独居老人の増加と 孤独死が増えます。安心を求める老人は 少し自由を制限して、地域への参加をすることが必要となるでしょう。

高度経済成長時代の 企業戦士の生き方を批判して、自分らしい生き方を求める、ロハスやスローライフが提唱されました。社会保障制度について 十分な知識を与えられず、非正規社員を 自由な生き方をするための選択 と考えた若者は、のちに、グローバル経済の賃金格差に苦しみます。現在、このような格差は、個人の責任ととらえられていますが、世界経済の潮流を 社会問題ととらえる視点も大切だと思います。

平等の考察

人類の遺伝的負荷
人生の偶然と努力の成果
不平等のは正策

4. 持続可能な社会保障制度を求めて: 2) 新たな制度設計の理念: 平等の考察

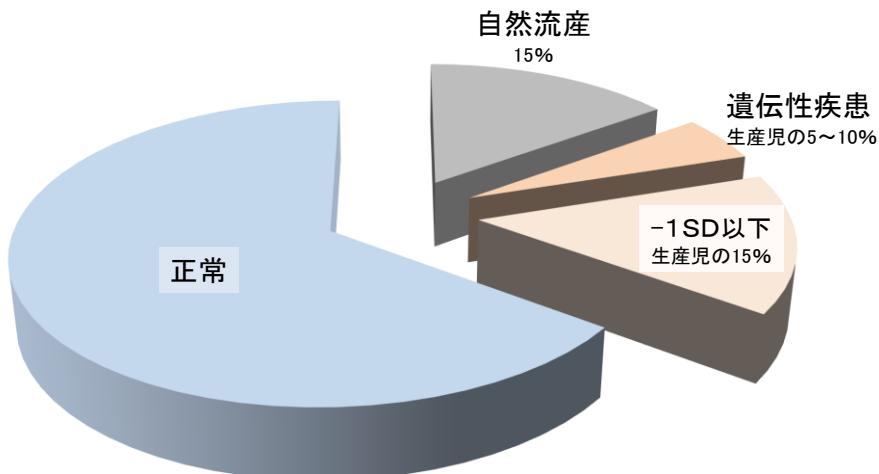
31

次に平等を考察します。

自分の人生は 自分で切り拓くしかありませんが、健康や能力や家族について、誰もが平等ではありません。日本人に比べると、戦火にある中東や、飢餓のアフリカは不平等な状態です。子供のころから遺伝性の疾患に苦しむ人たちに比べると、健常者は、偶然の幸運にまずは感謝 ということになります。

30

人類の遺伝的負荷 －認識された妊娠中の割合－



原子放射線の影響に関する国連科学委員会1977年を改変

4. 持続可能な社会保障制度を求めて:2)新たな制度設計の理念:平等の考察

32

人類の遺伝的な負荷 を論ずるときに よく引用されるデータです。認識された妊娠の15%は自然流産となり、生産児の 5から10%は 何らかの遺伝性疾患をもち、平均より 何らかの能力が劣っている人たちが 15%ほどいます。

知能指数80前後の 軽度な知的障害者が、収入を得られないために、無銭飲食などの軽犯罪を繰り返して、服役することが報道されています。刑務所が 福祉施設の役割を担っているともいえます。福祉の対象にならない境界付近の人たちです。

人類を含む生物には 一定の確率で 突然変異が起こります。遺伝性疾患をもつた人々は 人類を代表して 病気を引き受けてくれたのだから、支援することが当然だ と考えることができます。

人生の偶然と努力の成果と支援のあり方

		出生時	子供期・労働期	
成功者 中間層	健康 能力 家庭	偶然 ・平均以上の人 ・不遇を克服する素養 をもつ人	努力	偶然 指導者 協力者 時の運
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の人生は自分しか背負えない: 自立 ・不平等の是正の基準: 成功した人と不遇な人の生きる努力が同等となる支援 ・お互いの「人間の尊厳」の尊重 				
不遇な人	健康 能力 家庭	偶然 ・先天性疾患 ・境界領域 ・教育に無関心な親	努力した けれど成果なし or 怠惰	偶然 事件 災害 不運

4. 持続可能な社会保障制度を求めて: 2) 新たな制度設計の理念: 平等の考察

33

成功者と不遇な人の差を考えてみます。我々が健常者に生まれたことは偶然であって、我々の努力の結果ではありません。努力をして 大過なく過ごせた中間層も、協力者の存在や 時の運などの幸運にも恵まれています。

一方で、生まれた時から 健康や能力や家庭環境において 不遇な人たちがいます。努力をしたけれど 幸運に恵まれずに失敗した人たちもいます。不遇な人の多くが怠惰である と考えるよりも、偶然性を重視して、コミュニティの一体化を進めることが、持続可能な社会につながると思います。

それでは、不遇な人への支援は どの程度にするのが適切なのでしょうか。とても難しい問題ですが、3つの原則があると思います。一つは 自分の人生は自分しか担えない という事実と、自分では死ねない という本能です。自分に与えられた条件の中で 生きる努力をすることは、どのような場合にも必要で、この自立の努力が支援の条件になります。もう一つは、成功した人の努力と 不遇な人の努力が 同程度となることが支援の基準だと思います。そのために、お互いの状況を理解して「人間の尊厳」を尊重することが大切です。



新自由主義者に限らず、税金を收奪と主張する人たちがいます。また、障害者に対して「税金泥棒」という人がいます。

しかし、これまで見たように、低所得者の多くが怠惰であるという前提は妥当性が低いように思います。再分配は、不平等の是正と格差の解消に必要だからこそ、多くの国で税制が採用されているのであって、議論の焦点は税率の妥当性だと思います。

私はこのような考え方を、自由主義における平等主義の探究であり、集団で取り組む社会保障と個人主義の調和を探る作業と考えています。しかし先日のアメリカ大統領選挙の解説者が、私と似た主張を社会主義的だと左寄りだと批判していました。平等とか公平という概念について、イデオロギーを超えたコンセンサスが形成されることが必要であると感じました。

持続可能なコミュニティの理想像

4. 持続可能な社会保障制度を求めて:2)新たな制度設計の理念:持続可能なコミュニティの理想像

35

次にコミュニティの理想を考えます。

持続可能な コミュニティの理想像

歴史

国家・社会・家族

労働

無償労働: 奴隸
女性
懲罰



競争的

国家・社会・家族

労働

格差: 不公平感
多様な価値観:
排除の論理



共存的

国家・社会・家族

労働

一体感: 公平感
多様な価値観:
包摂の論理



4. 持続可能な社会保障制度を求めて: 2) 新たな制度設計の理念: 持続可能なコミュニティの理想像

国家や社会や家族を 支える制度としては、ギリシャ以前の時代から 労働によって収入を得る人と、無償の労働を提供する人 によって支えられてきました。これからの持続可能なコミュニティは、構成員が不公平感をもつたり 対立するのではなく、一体感をもてるコミュニティだと思います。

運命の運不運によって 格差が生まれるのは当然のこととしても、構成員が 格差を容認できるくらいの 是正策が講じられると 一体感を保つことができ、ベクトルが上向きになって コミュニティを支えることができるものと思います。

4. 持続可能な社会保障制度を求めて—論点—

4-1) 我が国の問題点の原因を探る

- 経済主導の社会保障政策の理想と現実
- 失業率・非正規雇用労働者の割合・所得分布
- 教育投資の国際比較
- 国民負担率の国際比較

4-2) 新たな制度設計の理念

- 自由の倫理
- 平等性の考察
- 持続可能なコミュニティの理想像

4-3) 提案—理念主導の社会保障政策—

- 所得保障
- 平均寿命100歳時代のライフサイクル
- 出生率増加
- 国の信頼回復

4. 持続可能な社会保障制度を求めて:3)提案

37

社会保障の理念の考察を踏まえ、現状を改善するための提案です。

4-3) 提案－理念主導の社会保障政策－

- 所得保障
 - 若者も高齢者も
 - 低賃金時代の共働き核家族
 - 福祉依存にならない低所得者対策
- 平均寿命100歳時代のライフサイクル
 - 定年後の社会参加
 - 死に方の選択
- 出生率増加
 - 子育て支援
 - 女性のライフスタイルの再考
- 国の信頼回復
 - 議員の手当
 - 消えた年金
 - グリーンピア
 - 公務員は公僕！
 - 所得保障も出生率も教育も社会問題
- これからの社会保障制度
 - 就労支援
 - 所得保障
 - しくみの周知
 - 増税

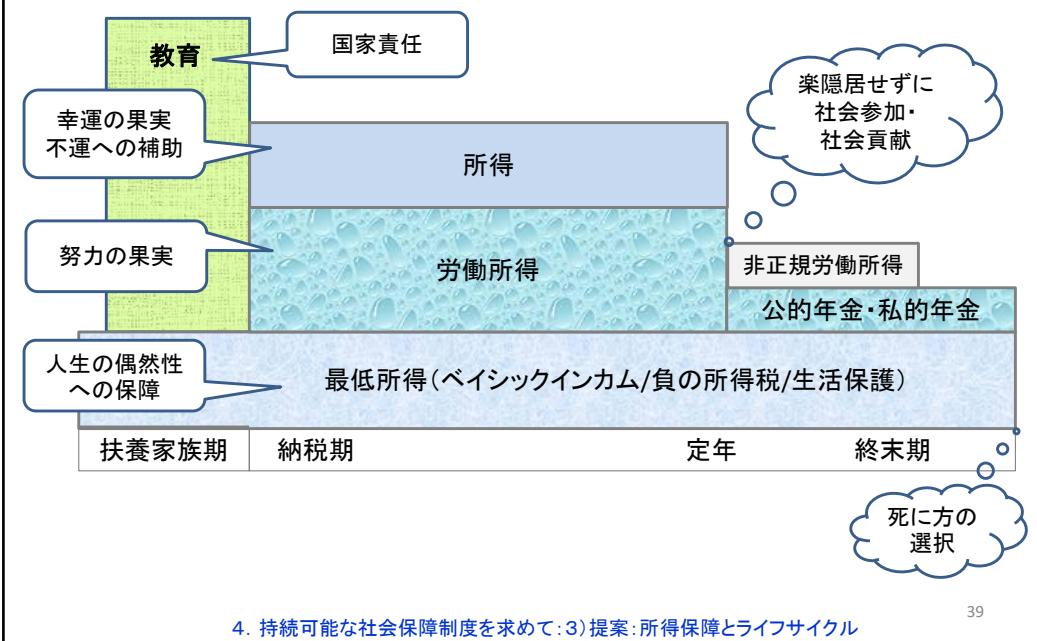
4. 持続可能な社会保障制度を求めて:3) 提案

38

原則論ばかりでは具体性に欠けますので、最重点事項である 所得保障と出生率の増加策を 提案したいと思います。

36
-14

所得保障とライフサイクル



39

若者を 国の将来を担う資源ととらえて、教育も自己責任ではなく、国家が費用を負担します。

また、国民全体に最低所得を保障します。これは人生の偶然性への保障です。具体的な方策としては ベーシックインカム、負の所得税などの方法が考えられます。これに労働所得を上乗せできると より豊かな生活ができます。これは努力への報酬です。さらに幸運な人は 収入を上乗せしたり、不遇な人には困難に応じて補助をします。定年後に働いたり、定年までの所得で保険を買っておけば 老後も豊かになります。死期の前の数年は 公的な介護に頼ることができれば と考えます。

平均寿命100歳の時代 の死に方については なかなかイメージができませんが、若者の負担を増やさないような、個人の努力と 公的な政策が必要だと思います。

ベーシックインカムの効果 －月6万円(年72万円)－

- 労働意欲の高揚
 - 生活保護との違い: 労働によって収入の増加・資産調査は不要・貧困ビジネスや不正受給につながりにくい
 - 納税手続きは現行の確定申告と同じ
- 低所得の若者や高齢者への所得保障:
 - 150万円/年 ⇒ 222万円/年、年金+72万円
- 結婚のインセンティブ:
 - 1人暮らし:+72万円/年 ⇒ 結婚:2人暮らし+144万円
- 行政の簡素化・天下りの抑制:
- 生活の安定による消費の拡大と経済循環:
 - 所得保障による将来不安の軽減

4. 持続可能な社会保障制度を求めて:3)提案:所得保障とライフサイクル

聞きなれない言葉かと思いますので、ベーシックインカムの効用を挙げてみました。

ベーシックインカムとは一定の収入を 国民全員に提供する制度です。日本の国家予算と 保険料をベースに試算すると、月6万円程度は、税率の工夫と 制度の組み換えによって 実行可能だと試算しました。

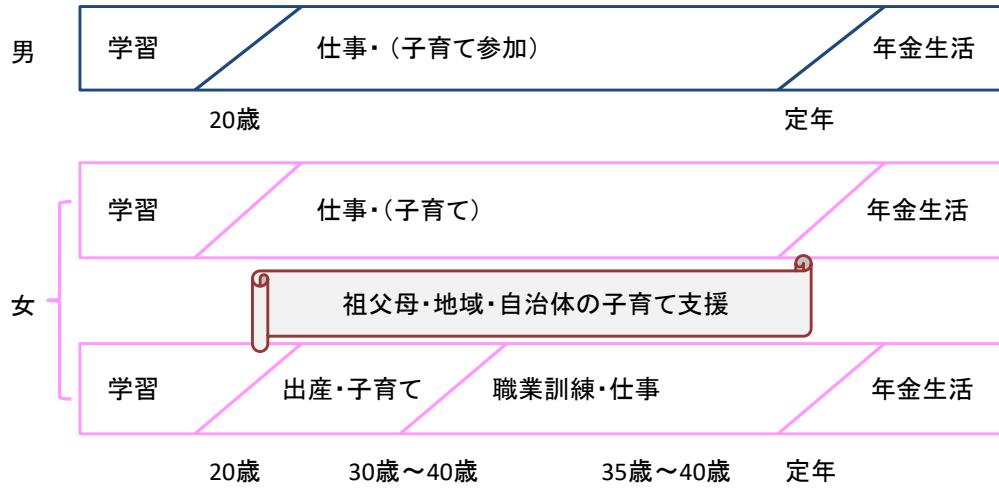
生活保護と違って 労働の報酬を積み上げられます。資産調査による屈辱感を避けられます。生活保護では 医療費が無料になるので、薬を横流しする貧困ビジネスも起りますが、それを防ぐことができます。

低所得の若者にも 老人にも 所得保障になります。二人暮らしだと 基本収入が2倍になるので 結婚のインセンティブになります。

所得保障により生活が安定するので、消費の拡大が見込めます。

経済成長優先の 社会保障制度を 再検討するための選択肢として、理念優先の制度 を検討する価値は大きいと思います。

出生率増加 －女性と男性のライフサイクルの区別－



4. 持続可能な社会保障制度を求めて:3)提案:出生率増加

41

出産する女性のライフサイクルが、男性のライフサイクルと同じである必要は ない
ように思います。

20歳前後で出産して、子育てをしながら 何かのスキルを磨いて、子育てが終わってから就職する、というライフスタイルが 並立されてもよいように思います。若い時の出産は不道徳ではなく 奨励されるべきもの との意識の変革と、関連する知識の教育が必要となります。

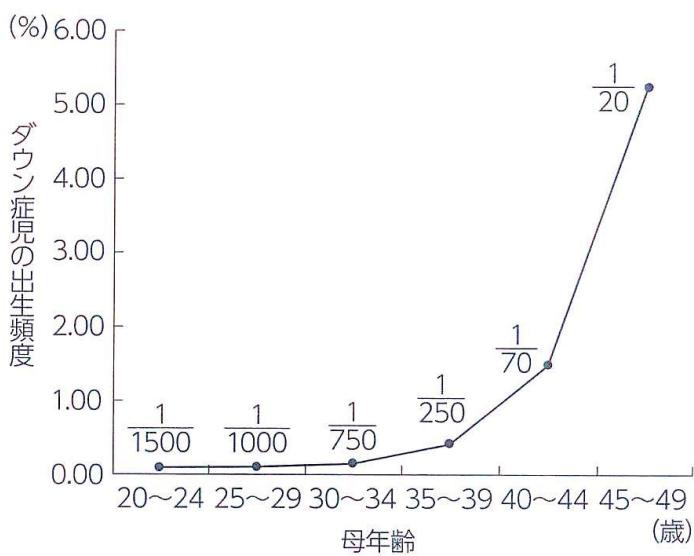


図 4-1 ダウン症児の出産の母年齢依存性

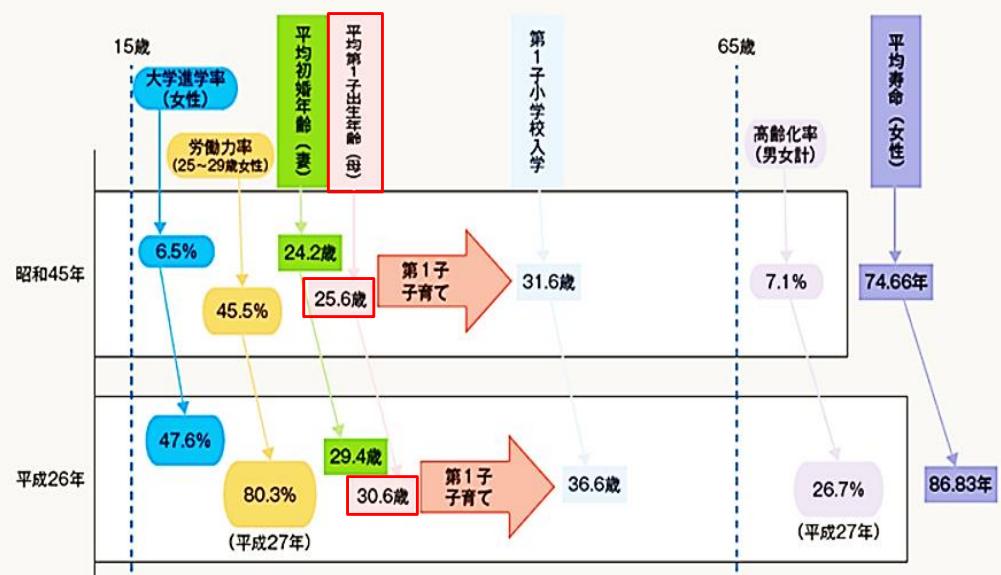
(Kathleen Fergus "Maternal age related risk for Down syndrome and other trisomies", About.com, About Health, Down Syndrome, 2014 より作成)

4. 持続可能な社会保障制度を求めて:3)提案:出生率増加

42

若い年齢での出産は、胎児の染色体異常の確率 を低くするためにも、母体にとつても好ましいことです。20歳代前半でのダウン症出生のリスクは 格段に低くなっています。

I - 特 - 2 図 女性を取り巻く状況の変化



内閣府男女共同参画局:男女共同参画白書平成28年版
http://www.gender.go.jp/about_danjo/whitepaper/h28/zentai/html/zuhyo/zuhyo01-00-02.html

4. 持続可能な社会保障制度を求めて:3)提案:出生率増加

43

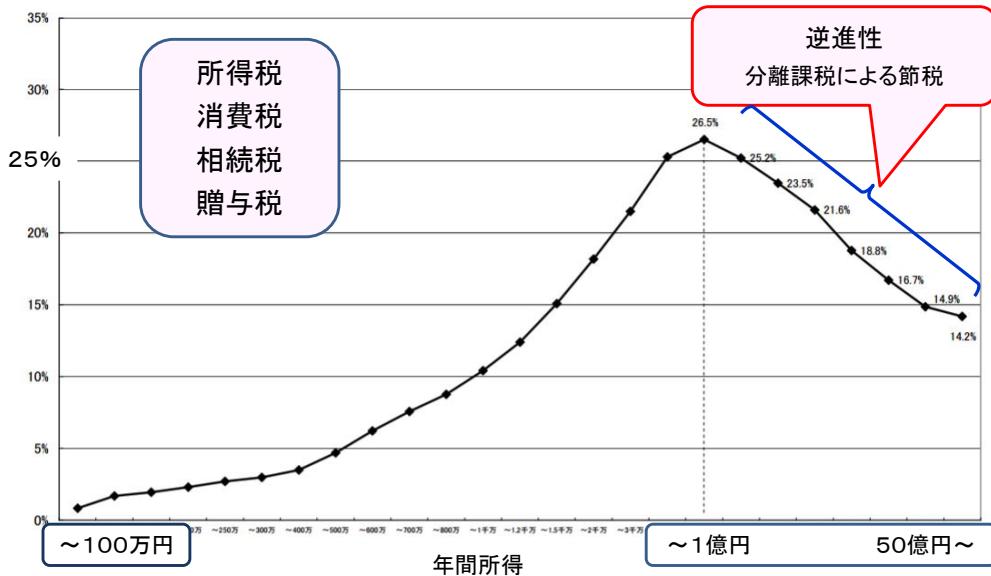
1970年頃の平均結婚年齢が 24歳であることを考えると、この提案は、取り立てて若すぎる というものではないように思います。

収入の面で不足するかもしれません、両親が事情を把握して 援助してあげることができるように思います。

家庭レベルでの出生率増加政策です。

負担率

年間所得と所得税負担率(平成19年)



<http://www.ipp.hit-u.ac.jp/tajika/lecture/material/taxsystem06-110616.pdf>

これまで、現行の税制の中で 改善策を考えきましたが、累積の国債を償還するためには増税は避けられないものと思います。

消費税や相続税の増税については すでに検討されていますが、分離課税については あまり議論されることはありません。これは所得と 税の負担率のグラフですが、所得が1億円を超えると 税が逆進性になっています。所得税なら45%を納税しなければならないところ、分離課税で20%を納税すればよいための逆進性です。公平を期すためには検討が必要な課題だと思います。

加えて、人生の成功者が高齢になったとき、旅やグルメやゴルフ の楽隱居を送ることも 経済を循環させるので結構なことですが、若者をサポートするなどの社会貢献をして、自分の幸運のおすそわけをしたら 喜ばれると思います。

4-3) 提案－理念主導の社会保障政策－

- 所得保障
 - 若者も高齢者も
 - 低賃金時代の共働き核家族
 - 福祉依存にならない低所得者対策
- 平均寿命100歳時代のライフサイクル
 - 定年後の社会参加
 - 死に方の選択
- 出生率増加
 - 子育て支援
 - 女性のライフスタイルの再考
- 国の信頼回復
 - 議員の手当
 - 消えた年金
 - グリーンピア
 - 公務員は公僕！
 - 所得保障も出生率も教育も社会問題
- これからの社会保障制度
 - 就労支援
 - 所得保障
 - しきみの周知
 - 増税

4. 持続可能な社会保障制度を求めて:3) 提案

45

公務員への信頼回復も重要な課題です。議員や公務員の信じられない不祥事がこのように続いている。

議員や公務員が、エリート意識をもって自分の利益を追えば、国民も自分の利益だけを護ろうとします。

公務員が、公僕として公正な仕事をしてくれることが、国への信頼につながります。所得保障も 出生率も 教育も、国民個人の責任に任せるのではなく、国の責任で対処すべきことだと思います。

これからの社会保障制度 －体制ごとの原則－

- 自由競争を原則とする場合
 - 自立可能な職業訓練と雇用の拡大による収入の確保
 - 構造的失業・非正規労働へのセイフティネットの強化
 - 義務教育において社会保障のしくみを周知
- 最低生活を保障する場合
 - 自立可能な職業訓練と就業の奨励
 - 社会保障のしくみを周知して福祉依存を防止
- 持続可能な新たな社会福祉制度
 - 所得保障・子育て支援・教育・公務員の信頼回復
- 共通の課題
 - 増税:消費税、相続税、所得税、分離課税

4. 持続可能な社会保障制度を求めて:3)提案:これからの社会保障制度⑤

46

最後のまとめになります。

主として 新たな制度設計の理念と 可能な施策について論じてきましたが、自由競争を原則とする場合も最低生活を保障する場合も、自立可能な職業訓練を推奨し、所得保障にも思い切ったセイフティネットを作る必要があると思います。

不運にも困窮する人たちのために、義務教育で、社会保障のしくみや 困ったときの相談窓口を伝えること、そして、福祉に依存せずに 自立する努力が大切なことを 伝えることが必要だと思います。

社会保障制度の再構築は、限られた原資の中での分配ですので、排除の論理が優先しがちです。社会保障の歴史から教訓を得ながら、国民がお互いの尊厳を尊重して、一体感を得られるようにできたらと思います。

最後に もう一つ付け加えさせていただきたいことがあります。制度の変革はすぐにはできないことですが、個人のレベルでは、世代間格差の解消や 子育て支援はできます。おじいちゃんおばあちゃんから孫への贈与は、家族内の国債償還になります。子供さんたちの子育てのお手伝いは、無償のサービスとして 世代間格差の個人的な解消策になります。そのメリットとリスクを ご家族で十分に議論していただいて、世代間格差の解消のヒントにしていただけたらと思います。

多くの選択肢のある問題について、ある意味では 極論に近い具体策を提案させていただきました。包括的な議論 の参考にしていただけたら幸です。本日はありがとうございました。